

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、130兆円台の日銀当座預金を背景に積み進捗が大幅に進んでいたものの、GCレポレート上昇が無担保コールO/N加重平均レートにも影響し、やや底堅い展開での一週間となった。週前半は、大手行から0.06%前後、地銀・信託業態からの0.065%前後でのビッドが基調となっていたが、週半ばからはGCレポレート上昇を背景に一部の大手行が0.065%にビッドを引き上げた。25日には複数の大手行から0.065%ビッドが入ったことで、0.06%後半の出会いが見られる場面もあった。ターム物は月内1W程度の調達が大手行・地銀から散見された。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは3M物が24日にオファーされた。連休前ということもあってか、応札額が6,010億円とそれなりに膨らんだものの、札割れとなった。米ドル供給オペは1W物が22日にオファーされたが、応札はなかった。

来週は、2日の税・保険料揚げ、連休前の銀行券発行等の要因で、需給上は資金不足となる。今週の底堅い地合いが続くかに注目したい。30日には日銀金融政策決定会合、経済・物価情勢の展望発表が予定されている。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通してレートがじり高となる展開であった。週前半は3M0.06%近辺、1Y0.03~0.035%の出会いであったものの、木曜日の入札にかけて徐々に調整の売りも見られ、週後半は3M0.065%近辺、1Y0.04%の出会いとなった。3月末の期末要因が剥落したことから短国市場の過熱感は弱まっており、レポのGCレートも高止まりしていることから、全般に甘めのレート気配が続く展開となった。木曜日に実施された3M物の入札は、按分レート0.0661%、平均レート0.0637%、按分比率28.9038%という結果になった。W取引での出会いも少ない中、落札結果は若干流れた印象。セカンダリー市場では0.067%出合いと、小甘い展開になっていた。

先週のCP市場は、連休前の月末週受渡しにあたってことから発行が増加し、週間で1兆7,000億円程度の発行(入札ベース)となった。3月末に一旦落ち込んだ発行残高が回復してきている一方、GCや短国市場の需給が緩んでいる影響で現先レートが上昇しているため、発行レートは上昇基調となっていた。24日にCP等買入オペが4,500億円通知され、応札総額8,105億円、落札総額4,190億円、按分レート0.087%、平均レート0.089%、按分比率25.9%と、発行レートの上昇を背景に、前回よりも甘めの落札結果となった。

今週の短国市場は、先週の短国買入オペの通知が見送られていることから、代わりに今週通知されることが予想される。連休が挟まっていることからスケジュールを予想し難い面もあり、オペの動向が注目される。CP市場は連休に差し掛かるため、発行案件は減少する見通し。一方で現先レートの急低下は想定し難く、発行レートは高止まりが予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で6,600億円程度の発行超見通し。財政資金は、2日の税・保険料揚げを中心に3兆1,600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3兆8,200億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜4月28日＞TB3M;償還47,800億円・発行57,000億円 ＜5月2日＞交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
4/28 (月)	△ 2,100	△ 4,600	△ 6,700	全店共通(固) CP買入	△ 3,200 △ 600	6,000	2,200	△ 4,500
4/29 (火)	昭和の日							
4/30 (水)	△ 3,500	7,000	3,500	CP買入 国債買入		4,200 3,100	7,300	10,800
5/1 (木)	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000				0	△ 2,000
5/2 (金)	0	△ 33,000	△ 33,000				0	△ 33,000
週 間 合 計	△ 6,600	△ 31,600	△ 38,200		△ 3,800	13,300	9,500	△ 28,700

(注) 上表の4/28は日銀予想、4/30以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/28 (月)	3月の商業販売統計速報 (経済産業省 8:50)		
4/29 (火)	昭和の日		米FOMC (1日目) 2月のS&P/ケース・シラー住宅 価格指数 4月の米CB消費者信頼感指数 1-3月期の英GDP速報値
4/30 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合 経済・物価情勢の展望 3月の鉱工業生産・出荷・在庫速報 (経済産業省 8:50) 3月の毎月勤労統計調査速報 (厚生労働省 10:30) 3月の住宅着工統計 (国土交通省 14:00)		米FOMC (2日目) 1-3月期の米GDP速報値 4月のシカゴPM景況感指数 4月のユーロ圏消費者物価指数 速報値
5/1 (木)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み (財務省 15:00)	TB3M 57,000億円 5/7発行	流動性供給 3,000億円 5/7発行
5/2 (金)	3月の労働力調査 (完全失業率 総務省 8:30) 3月の全世帯家計調査 (総務省 8:30) 3月の一般職業紹介状況 (=有効求人倍率 厚生労働省8:30) 5月の日銀当座預金増減要因見込み (日銀 8:50) 4月のマネタリーベース (日銀 8:50)		3月の米個人所得・消費支出 3月の米建設支出 4月のISM 製造業景況指数 3月の米製造業新規受注・出荷・在庫 4月の米雇用統計

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長 (登金) 第526号 日本証券業協会加入